



2011年2月21日(火)～

3月12日(月)の活動

○ 北陸港湾の利便性拡大にむけての勉強会

2月21日(火) 金沢市

平成23年度第3回の勉強会を開催した。北陸三県の港湾管理箇所、振興協会、北陸地方整備局など勉強会メンバーから12名が出席した。

平成23年度活動計画の実施状況について報告後、平成24年度勉強会活動について意見交換を行った。広域災害発生時における北陸港湾の連携については、北陸地方整備局による検討状況を見ながら、北陸港湾として取り組むべき課題と方策を検討することとし、活動計画の具体的な実施にあたっては、今後、勉強会に諮って決めることとした。共同ポートセールスセミナーについては、「北陸フォーラム」(北経連主催)の活用を検討するほか、北陸・韓国経済交流会議にて海外の港湾との交流促進などを実施することとした。

北陸地方整備局および北陸三県からは港湾に関する取組みについて報告が行われた。(担当: 畑山)

○ 第19回 北陸地域懇話会(整備局・運輸局との懇談会)

2月28日(木) 富山市

国土交通省から、前川北陸地方整備局長、最勝寺北陸信越運輸局長をはじめ20名、当会からは永原会長をはじめ25名が出席した。

冒頭の挨拶で永原会長が北陸新幹線敦賀延伸着工の方針決定に感謝の意を述べたほか、ディステーションキャンペーンの実施や、「北陸フォーラム」等によるイメージアップに取り組む方針を述べた。

犬島副会長が新幹線大阪全線までの整備への取組みや「北陸物語」を活用する取組みについて報告した。深山副会長からは広域災害発生時における北陸港湾の連携について理解と支援を求めた。

意見交換では、道路の物流代替補完機能、港湾のBCP、共通カードの検討状況、昇竜道プロジェクト等について要望・質問を行った。(担当: 村江)

○ 次世代自動車フォーラム in 北陸

3月2日(金) 金沢市

北陸の産学官の関係者59名に参加いただき、フォーラムを開催した。

北経連と北陸産業活性化センターは、北陸地域の新産業創出の一助として、中古車両のエンジンと燃料タンクをモーターと電池に載せ換えることで電動化を実現するコンバートEV技術の実用化に取り組んでおり、昨年秋に地元メーカーの協力を

得て実証車が完成した。

今回のフォーラムでは、東京大学特任教授の草加浩平氏より、コンバートEV実用化に向けた動向、課題等について講演いただいた後、実証車開発に協力いただいたメーカーより、実証車のデータ、使用技術、今後の課題等について説明した。

合わせて、事務局より、企業間連携、産学官連携による実用化に向けた課題の解決を目指す「コンバートEV事業化研究会」の発足について説明し、入会の募集を行った。(担当: 岩田)

○ 第3回 次世代ロボット研究会・北陸

3月6日(火) 金沢市

北経連と北陸産業活性化センターの共催で、第3回の研究会を開催した。

今回は、ロボット利用のニーズを収集するため、研究会メンバー22名が介護福祉施設「金沢朱鷺の苑」を訪問した。

はじめに、実際に介護に従事している方から、階段の昇降や砂利道通行が可能な車椅子、音声による介護情報記録ツール等のニーズをお聞きし、研究会メンバーが、介護用途のロボット技術に関するそれぞれの取組みを説明した。

研究会メンバーからは、今後も個別に同施設との情報交換を実施していきたいという意見が多く出ていた。

その後、車椅子や歩行補助機でも利用しやすい居室・トイレ、車椅子用の動くスロープ等の設備を見学し、介護施設の状況について理解を深めた。(担当: 岩田)

○ 環日本海講演会

3月6日(火) 富山市

北陸AJECは「市場環境等の変化著しいアジアにおけるビジネス戦略を考える」をテーマに環日本海講演会を開催し、北陸三県から51名が参加した。

国際協力銀行が、海外事業展開検討のうえで重要な事項について分析した調査報告に基づき、製造業を中心とする日本企業の海外(特に新興国市場)事業展開動向を報告した。

アジア経営戦略の専門家である安積教授から「激動するアジア経営戦略」をキーワードにご講演いただいた。中国を中心とするインド・ASEANがアジア戦略の中心となっており、アジア地域経営の巧拙が企業の成長性・収益性に大きく影響することを説明するとともに、こうした市場環境の変化に素早く対応できる経営の重要性を訴えられた。

(担当: 畑山)

○ 第18回中部・近畿経済産業局との懇談会

3月7日(月) 金沢市

当会からは永原会長をはじめ37名、経済産業局からは紀村中部経済産業局長をはじめ11名が出席。

冒頭の挨拶で、永原会長は原子力発電の早期再稼働の推進やTPPに関する支援を求めた。

水口常任理事、松浦常任理事は、当会の「産業振興」、「国際経済交流の推進」の活動状況や方向性について報告した。その後の自由懇談では、次世代ロボット研究やコンバートEVに対する支援、北陸・韓国経済交流会議への協力、国際ビジネス人材の育成、クール北陸への取組み、ライフケアに関する施策、観光資源の活用などについて意見交換した。

(担当:伊東)

○ 会員懇談会(石川)

3月12日(月) 金沢市

永原会長、深山副会長ほか70名が参加、

・北陸新幹線・並行在来線
・北陸のプレゼンス向上(観光・イメージアップ)をテーマに自由懇談を行い、活発な意見交換を行った。懇談後、「危機だから支えてくれる文化」をテーマに幅広い分野で世界的に活躍されている金沢出身の陶芸家 大樋 年雄 氏による講演を行った。

(担当:中西)

お知らせ

□ 3月27日(火) 13:30~16:30

「ライフケアセミナー」の開催

金沢都ホテル

高齢化の進展や健康志向の高まりを背景に、ヘルスケア関連産業は、わが国の新たな主要産業の一つとして、高い成長が見込まれている。

当連合会と北陸産業活性化センターは、北陸におけるヘルスケア関連産業の発展の支援を目的として、現在の日本の医療の課題を探り、解決のヒントを提供するセミナーを開催する。

【講演Ⅰ】日本の医療と産業創生の可能性

講師:ヒュービットジェノミクス(株)社長 一圓 剛 氏

【講演Ⅱ】少子高齢化時代の最先端医療は 能登にあり

講師:公立穴水総合病院 院長 倉知 圓 氏
詳細は下記ホームページを参照 ※参加費無料

<http://www.hokkeiren.gr.jp/STC/>

[お申込み・お問合せ先]

一般財団法人北陸産業活性化センター(担当:中田)

Tel:076-264-3001 Fax:076-264-3900

□ 4月15日(日) 15:00~16:30

「TPPに関する県民勉強会(第2回)」

石川県地場産業振興センター(参加無料・申込み不要)

TPPを考える県民の会(事務局:JA石川県中央会)では、TPPについて理解を深めるため、勉強会を開催する。(会場の席数に限りあり)

<テーマ> TPPがわが国の将来と暮らしに与える影響(仮)

<講師> 森永 卓郎 氏(独協大学教授・経済アナリスト)

[お問合せ先] TPPを考える県民の会 :076-240-6002

□ 4月19日(木) 15:00~17:00

「環境行政に関する全国説明会 金沢会場」の開催

金沢商工会議所 3階ホール

災害廃棄物処理、放射性物質の除染、地球温暖化対策、生物多様性保全など環境行政の主要課題の最新状況について環境事務次官から国民に説明する。

主催:環境省

講師:環境事務次官 南川 秀樹 氏

定員:120名(参加無料)

申込み:FAXかE-mailにて4月13日(金)まで

[お申込み・お問合せ先]中部地方環境事務所総務課

Tel:052-955-2130 Fax:052-951-8889

E-mail:CHB-EBK@env.go.jp

○ TPP交渉への早期参加を求める国民会議

ウェブサイトについて(紹介)

伊藤元重東大教授が代表世話人であり、経団連をはじめ、経済三団体の長が賛同人である標記会議は、国民の理解を深める目的で、TPP(環太平洋経済連携協定)の意義やその動向を発信し、Q&AやTPP参加に賛同する意見などを掲載したウェブサイトを立ち上げている。

【URL】<http://tpp-kokumin.jp/>

※北経連トップページにリンクバナー(「TPPの参加でもっと豊かな日本を」)あり

今後の主な活動予定

□ 4月11日(水)~14日(土)

台湾ミッション

<場所> 台北市(台湾)>

□ 4月23日(月)

第317回常任理事会

<場所> 金沢ニューグランドホテル>

□ 5月15日(火)

第90回理事会・平成24年度定期総会

特別講演 講師:坂本 光司 氏

<場所> 金沢ニューグランドホテル>

□ 7月25日(水)

第318回常任理事会

第40回三県知事との懇談会

<場所> ホテル日航金沢>

□ 11月13日(火)

(社)日本経済団体連合会との

第39回北陸地方経済懇談会

<場所> 福井市>

※当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(Tel076-232-0472)